

れたるを喜び、常にたゆまぬ先生の御研究の程をうかがはる。

一、戸倉先生のお遊戯には、將に行きつづまらんご危ぶまるゝ現状より救はんごして、特に真に幼児に即したる自由表現を高潮せられたる、誠にかくあるべきものご強く感銘す。

かく一々數へ來りて、常に迷へる自分は光明の街に引き

## 感想に代へて

出されし感を禁ずるを得ず。

要するに今回の講習會は、講師先生方ごも、いつになき親しみを感じ、受けし課目の一々わがものになりしやうなる思ひにて、日々喜びに満ちて六日間を有意義に過し、又來ん年もかゝる會の開かれんごを切望し、今に尙ほ向上の氣に燃えつゝあるを喜び、拙き筆もて感想の一端ごす。

東京 文華幼稚園 留岡よし子

Yさん。其後御體如何？ 講習には死んでも行く。講習、講習。ご、呪文の様に言つていらしたその講習。文部省のなか何だかごにか、倉橋先生の講習なるものに、遂に御姿の見えなかつたのは本當に御氣の毒ごも残念ごも申上げ様がありません。私？ 勿論出席、大切な病人。一時間

半かゝる田舎から。子供等の始末。留守のあれこれ等々の毎日。海を越えて來られた方々の御熱心もさるもの乍ら東

京の住人だからごいつて、またあなたのように出席出來なかつたからつて、凡そ保姆ごいふ程の者が、講習々々ご本當に三七日のお籠りならぬ、六日間を神詣でもする氣でゐるのですから參詣人の多かつたのも不思議な事ではありませんでした。

先づ本堂は見事な本建築。流石、御用意萬端至れり盡せり。會員名簿が申込順に府縣別園名入、番號付で出來て居

り着席順が番號付で定められて居りました。

「失禮ですがあなたは熊本〇〇〇幼稚園でいらつしやいますか。實は私熊本の出身で……」「まあその△△さんなら幼稚園のお向ふでございますわ」「ちや□□ちやんていふ子は」「え、その方もう女學校へこんなのも御利益の一つ。」

さて御説教は、之は活字になつたものを御覽になつて下さい。御教は骨身にしみて有難い極なのですけれど、凡婦の悲しさ、それに、衆愚、もろく、のさまたげに、そのまま明日からさいふ譯にいきさうもないのが残念だと思ひます。私はつくづく思ひました。

保姆には眼が四つ否八つ、そして、たこの如くいかの如く多くの足ならぬ手の欲しきかな。肝心のアタマは否ココロはつて？それはもう親馬鹿程に保姆馬鹿でいゝのぢやないでせうか。

それからね、一段、嬉しい事があつたんですよ、質疑問答。かういふ機會を與へて下さる御親切いふより、與へ得る此の講習なればこそいよく尊いもの、さいふべきでせう。これも活字で御覽下さい。結局「そうなんだらう、

そうに違ひない、ほんまうに!! だけぎ……」もう一度、六つになつて、お茶の水の幼稚園に入れて頂き度いと思つたのは私一人でしたらうか。

戸倉先生の遊戯、不斷怠け者の私は體の限を盡して踊りました。汗ビツシヨリ。ホツミ風を入れてゐるを、踊つてゐる方々の姿が何時の間にか、園兒の〇〇さん△△ちゃんに見えたり、あれをする時の□□さんの顔付は定めて見物だらう……なぎゝひさり、ほゝえまれる程、それ程ピツタリミ子供らしいですの。

いゝ遊戯、面白い遊戯、愉快な遊戯、上手な必要のない遊戯、ヅラおしと思はずうれしくなつてしまひました。

及川先生の手技。何時も乍ら小母様みたいな先生をしてお姉様の様な先生方。私はますますもう一度六つになり度いと思ひました。

製作品は今度御目にかけます。すべてはそれで御わかりになるでせう。動物園、水族館、それを通して、ものゝつかみどころ。ものゝ扱ひ方、表し方、なぎ考へさせられま

終りに恐縮したのは、茶話會に御招き下さつた事です、恨みは參詣人の多すぎた事。

缺席を餘儀なくされたあなたへ御氣の毒こは思ひます

## 感想

七月二十一日より同二十六日迄東京女子高等師範學校新校舎に於て、日本幼稚園協會の催しの保育講習會に初めてのごみしました。講習會員は全國より、滿洲朝鮮臺灣の遠方よりお見えになり、四百數十名の會員諸師の熱心なる態度の集合は、ごりもなほさず講師倉橋先生外諸先生の極めて適切なる講演題目のよろしきを得たる事ご存じます。私は女高師の設備完全なる寄宿舎にお世話様に相成り、各地方の先生方ご寢食を共にいたし、規則正しき六日間にごても得られない親しみを結び、お互に意見の交換をいたしたる事は何よりも愉快でありました。今から二三の所感を述べ御禮を申し上げます。

が、全く少ないお賽錢に拘らず御利益は無限。

では御大切に。拜眉の折萬々。(八、八、一七)

京都 永觀堂幼稚園 鶴田しづる

一、幼稚園保育眞諦は誠に結構なる御講演でありました。私たち至つて淺い經驗にておこがましく申上げる資格のないものでありますが、日頃園兒に接しながら、いつごても心に響いてゐました事項であり、此度の御講演を承り一しほ意を強くいたしました。益々此の考の下に進んで行くつもりであります。

二、誘導保育案作成に就いては、先づ第一に環境ご設備のよろしきを得て、堅實なる知識、經驗、幼兒心理の理解ご、且つ又常識に富んだ保姆にしてはじめてなるものであり、其には従前の保育案より以上の研究ご、保姆の保育についでのご心構への努力が是非ごも必要であります。この案は